

技術顧問会における提言内容

(1) 本格撤去計画の位置づけについて

本格撤去計画が決定に至るプロセス、体制や、顧問会議の位置づけ等は、計画書に記載するか、あるいは別紙として添付してきちんと明示してはどうか。また、議論が反映されていく経緯は記録しておくべきである。

(2) 廃棄物の既往調査について

これまでの調査による現状把握について、ボーリングと電気探査で現場の状況のトータルを押さえているのであれば、廃棄物の総量については相当程度の精度は認められるが、どの程度の精度で行われているのかを記載してはどうか。

(3) 掘削前のリスク低減策について

後年度に掘削するエリアについては、掘削するまでの期間を利用して廃棄物層の換気対策や浸出水対策を行い、掘削時には作業環境等が改善しているような方策も検討してはどうか。

(4) 掘削による作業環境及び周辺環境について

本格的な掘削で発生する粉じんに伴う有害物質の飛散の可能性があるから、これについては、現場の作業員への影響が考えられるほか、周辺住民にとっても気になるところであるので、それについても考慮すべきである。

(5) 環境再生について

特措法の枠の中では原状回復だけであるから、環境再生は県の事業になる。

そこで、広く一般県民からアイデアを募ってから、それらを参考にした専門家による技術的・経済的に考慮された環境再生の提案を受けるといような、二段構えでの提案募集を検討してはどうか。